



あそぶ・まなぶ・語る



周防大島町社会教育施設連携協議会 〒742-2512 山口県大島郡周防大島町平野 417-11 宮本常一記念館内 TEL (0820) 78-2514

ハワイの 文化歴史講座



イ館
ワ料
八資
本民
日移

8月18日と20日の二日にわって夏休みのワークショップを開催しました。18日は小学生向けにレイメイキングを行いました。ある小学生は家に帰っておばあちゃんに教えてあげたそうです。

20日は、大人向けの文化歴史講座として、ハワイ等の映像を見ながら学んで頂き、午後には、レイメイキング講座を開催しました。あまりの暑さに急ぎよ大王松の木陰にシートをひいて実施。



まず西田純子さんからイブや材料の瓢箪についてのお話があり、次いでトミー米澤さんの指導の下で各々好きな絵を描いてニスやオイルステンド仕上げ。するとニスが乾

く間にウクレレ教室がはじまり、ついには出来上がったイブとウクレレなどで大音楽会になり、資料館はまるでミニ野外音楽堂と化しました。皆さんと一緒に作っていく講座ですので、次回も楽しみです。

■第3回ハワイ歴史&文化講座

日時…11月5日(日) 13時30分～15時

場所…日本ハワイ移民資料館

テーマ…アライ(首長)制度の出現からハワイ王国成立まで

参加料…大人600円/小中学生300円
(入館料及びお茶代含む)

講師…西田純子氏 (日本ハワイ移民資料館カ
ルチュラルアドバイザー)

※午前10時～11時30分までレイメイキング講座も
開催予定(参加料:大人1000円/小中学生500円)
定員…午前・午後ともに10名(先着順)
申し込み…0820・74・4082

夏合宿

in 周防大島

周防大島町
総合体育館

毎年多くの学校・大学・実業
団の皆様にご利用いただ
いております。温暖な気候と恵
まれた自然環境の中、合宿で
利用になるには、絶好のロケ
ションです。特に夏は合宿の
シーズンで、今年も
たくさんの方にご利用いた
だきました。猛暑が続
く中、選手の皆様は元気よく
全力で練習に取り組んで
おられました。



練習が終わった後は花火に海水浴、BBQなど
周防大島ならではの夏を満喫し、思い出に残るひ
ど時をお過ごしいただけたのではないでしょう
か。皆様の今後ますますのご活躍を、スタッフ一
同心よりお祈り申し上げます。また来年もお待
ちしております！

第6回

おのふるまにツヒを開催

周防大島の生産者をはじめ西日本各地から出店
者が、ふれあい交流広場に集まるオーガニック
マーケット。農産物・加工品、パン屋、飲食店、
雑貨店など約50店舗が出店する予定です。今回は、
ご好評を頂いているキッズスペースに加え、ワー
クショップ店が増えました。小物づくりなど様々

な製作体験ができ、大人
から子供まで楽しめる
マーケットとなります。

開催日…11月4日(土)
10～15時
(パンの販売は11時から)

場所…八幡生涯学習のむらふれあい交流広場
問い合わせ: info@muramarche.com

企画展「竹製品から見た

周防大島の暮らし」と講演会



むら
の生
の八
学館

竹製品を中心とした企画展を開催しています。
現在、私たちの暮らしに必要な道具はプラスチック
製品が主ですが、かつては竹や木材などを編ん
だものがほとんどでした。イワシカゴ、クワカゴ
やミカンカゴから周防大島の産業の変遷をうかが
うことができ、当地の暮らしを考える展示です。
また、工藤員功さんをお招きして講演も開催しま
す。工藤さんは宮本常一の指導を受け、竹かこの
調査・研究をされてきた方です。竹製品への宮本
の視点や、竹製品からみる日本文化などをお話し
いただく予定です。

展示会期…11月25日(日)まで

開館時間…9時～16時

開催場所…学びの間

※入場無料

■関連講演会

講師…工藤員功氏(元武
蔵野美術大学民俗資料室)

日時…11月11日(土)

13時30分～16時

場所…語らいの間



の「あつた！」

「あつた！」

妻の姉妹たちが大島の日本ハワイ移民資料館にある「布哇日本人

年鑑」に載っている祖父の名前を見つけた時、歓声をあげた。まさしくハワイに遺された祖父の痕跡である。会ったこともない孫と祖父が100年の時を超えて出会った感激の瞬間だった。

資料館を何度か訪ねるうちに、私は義祖父のことが気になり、彼がハワイでどのように暮らしていたのかを知りたくなった。そこで先年、いくつかの手がかりを携えてハワイを訪れ、日系の方の協力を得て足取りを確かめた。



ほとんど分かっていたいなかったことが少しづつ明らかになり、あの南国特有の景色の中に彼の姿を思い浮かべることができた。その後も義祖父への関心は尽きず、資料館に出入りさせていただいているが、ここには貴重な資料や図書がたくさんある。この施設を利用する人が、ここで情報を得ること、そしてここに情報を運び込むことも盛んになればと思う。館には、「北米移民」に関する資料もあり、加えて今年4月に「ペルー・ブラジル移民」の展示室が作られた。館内の資料からは熱い想いを抱いて海を渡った人たちの厳しくも逞しく生きた様に強く心を打たれる。(橋本正人/周防大島町西方)

館より

貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。資料の収集・展示だけでなく、記憶を思い起こす場、語り合える場となることの重要さを痛感しています。来年は、慶応4年(明治元年)4月に153人の日本人がハワイへ渡ってから「元年者150年」を迎えます。この機会に資料館が様々な「思いを語る場・集いの場」となることを願うところでです。

イベントひろば

宮本常一記念館

▼トークセッション「宮本常一と、ふるさと周防大島」

宮本常一が撮った写真や資料、地域に残る写真から周防大島の暮らしを考える。

日時：10月21日(土) 14時~16時

内容：滝本洋司郎(前橋郷土会会長)「写真でみる周防大島」/山根一史(宮本常一記念館学芸員)「宮本常一の風景を訪ねて」/司会：高木泰伸(同前)

会場：東和総合センター/定員50人(先着順)

入場無料/0820・78・2514

▼地域交流企画展

「薄れていった昭和の日常」

字部・山陽小野田・美祿等で家族アルバムを調査している地域交流員の吉富彰さんが、昭和期の生活写真を展示。

会期：10月16日(月)~11月19日(日)

会場：記念館研修室/10時~18時/入場無料

▼地域交流企画展「七十歳からの山歩き」

全国各地の山を訪ねた舛田良樹さんが、登った山の写真を中心に展示。中高年の皆さんへ登山の魅力を紹介します。

会期：11月21日(火)~11月30日(木)

会場：記念館研修室/10時~18時/入場無料

周防大島町陸上競技場・総合体育館

▼大好評！季節のヨーガ教室 「冬クラス」の募集を開始

長い冬を健康に過ごすために、一緒にヨー

ガを楽しみませんか？季節に適應する心とカラダづくりを目指しましょう。本格的にやってみたい方はもちろん、身体の固い方や初心者の方から楽しんで頂ける内容です。週に1度自分の心と身体と向き合う時間、ぜひご参加ください。

講師：三浦さおり

(日本ヨーガ禅道友会所属)

場所：総合体育館アリーナ

定員：30名(先着順)

参加料：1期7回分

4000円(初回時徴収いたします)

持物：ヨガマット(またはバスタオル)

日程：11月6日、12月18日までの毎週月曜日(全7回) 19時30分~20時45分

申し込み：周防大島町総合体育館

0820・78・2512

※1期7回を受講していただくことで「日頃のヨーガ」となるプログラムになっています。

八幡生涯学習のむら

▼表具講座(後期)を開催

久賀の表具工指導員である金本豊さんをお招きし、和紙の扱い方などを教えていただきます。後期は掛軸に加えて、経験者は額装を作る予定です。

日程：全6回：10月29日(日)、11月18日(土)、19日(日)、26日(日)、12月2日(土)、3日(日)

※時間はいずれも13時30分~16時30分

参加費(材料代)：5000円

場所：語らいの間

問い合わせ：0820・72・2601



暮らしのモノ語り

アナゴカゴ



周防大島ではアナゴカゴの名称で親しまれ

る。一般にはアナゴツツ、アナゴウケとも呼称する。網や延縄に取り付け沿海の底に沈める。石の重しと一緒に餌となる鱈の切り身などをカゴの中に入れてアナゴを獲るのに用いた。夕方沖に出て仕掛け、夜中あるいは翌日に回収する。夜行性、狭い場所を好むアナゴの習性を利用するのである。浜には倉庫があり、使わない時は重ねて保管した。

カゴは竹の稈を利用して作る。一方の節はくりぬいて残し、後の部分を柵目に割り胴となる部分を広げて横のヒゴを編んでいく。内部はアナゴが出られないよう竹筒を用いて「かえし」部を設け、この中に重りや餌を入れる。設置の際は外側の節に詰め物をしておき、カゴを引き上げた時に詰め物を外して中の獲物を出す。

もとはマダケとモウソウチク製が主であった。現在は小判状の網が塩化ビニールの筒が用いられ、折り畳みができ耐久度も強い。しかし、延縄などから外れて沈むと、朽ちずに仕掛けとなり、ゴーストフィッシングという弊害を逆になんて生んでいるという。

漁業環境も変化している。いま久賀でアナゴを獲る漁師は4、5軒だという。昔は沖合で年中どこでも獲ることができたが、旬である秋から春の夕から夜にかけての漁が主であった。いま季節関係なく漁をする。そして磯端で獲れることの方が多という。(八幡生涯学習のむら)